

2 1 令和 5 年度 研究推進計画

海田町立海田小学校

1 研究主題，研究内容等について

(1) 研究主題

【研究主題】 主体的に学びを深める児童の育成
～探究的な学習の単元開発・実践・改善を通して～

(2) 主題設定の理由

新学習指導要領（平成 29 年告示）では，子どもたちがこれからの時代に求められる資質・能力を身に付け，生涯にわたって能動的に学び続けることができるようにするためには，「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善（アクティブラーニングの視点に立った授業改善）を推進することが示されている。

本校の児童は，全国学力調査及び標準学力調査で全国平均を上回り，昨年度課題であった記述する力も向上した。しかし，昨年度 2 月に 5 年生児童に行ったアンケートから自分の考えを伝えることに苦手意識をもっている児童が多いことが分かった。「授業では，自分の考えを積極的に伝えています」において肯定的回答をした児童はわずか 47.7%であった。本校では，昨年度まで研究主題を「主体的に学びを深める児童の育成」とし，「主体性」，「コミュニケーション能力」，「メタ認知」を資質・能力の重点課題として研究を進めてきた。研究教科としては生活科及び総合的な学習の時間，国語科の 2 本柱で，授業改善に取り組んできた。それにも関わらずこのようなアンケート結果だったことは，重く受け止める必要がある。

生活科及び総合的な学習の時間では，これまでの古いカリキュラムを見直し，探究的な学習の単元開発を行った。PBL 理論の研修，ルーブリックの開発などこれまでにない研修を行い，生活科及び総合的な学習の時間の考え方から学び直すことができた。その結果，どの学年も探究的な学習の単元開発が進み，教師の総合的な学習の時間や生活科の時間に向かう姿勢が変わったため，児童が主体的に課題を解決していく姿が多く見られるようになった。また，単元開発が進んでいる学年においては児童に指示をしなくても授業が始まると自分達で課題解決に向けて進んでいく姿も見られるようになった。

国語科では，単元を通して身に付けさせたい教科の力と資質・能力の重点課題の 2 点を意識した単元開発を行った。表現力に課題がある児童が，国語科を通して表現力が身に付けられるよう，振り返りの視点を与えたり，主体的な学びになるよう必然性のある言語活動を考えたりした。その結果，標準学力調査において，特に課題であった記述力が大幅に向上した。しかし，新たな課題として話すこと聞くこと，話し合うことに課題があることが明らかになった。

これらの実態を踏まえ，本年度も継続し，育てたい資質・能力を「主体性」，「コミュニケーション能力」，「メタ認知」とし，研究を進める。生活科及び総合的な学習の時間においては，特に「主体性」「メタ認知」の視点で理論研修，振り返りの充実，ルーブリックの作成の 3 点を手立てとして研究主題に迫っていきたい。国語科においては，「コミュニケーション能力」の視点で研究授業を進め，伝え合う力の向上を図る研修を行いたい。国語科と生活科及び総合的な学習の時間を資質・能力ベースでカリキュラム・マネジメントすることで，より効果的に児童の主体的に学びを深める態度を育成していききたい。

(3) 研究仮説

生活科及び総合的な学習の時間においては「主体性」「メタ認知」を中心に、国語科では「コミュニケーション能力」を中心に高め、それらの資質・能力を教科の枠を超え高めていけば、児童が主体的に学びを深めることができるだろう。

(4) 研究内容

【生活科及び総合的な学習の時間】

①理論研修

- ・広島大学大学院永田教授から学ぶ。

②振り返りシートの充実

- ・ポートフォリオなど児童が自分の学びを振り返ることができる資料を蓄積する。
- ・単元振り返りカードを書くことでメタ認知の向上を図る。

③ルーブリック開発

- ・資質・能力ベースのルーブリックを作成する。
- ・教師と児童が、単元を通して目指す姿を共有できるルーブリックを作成する。

【生活科及び総合的な学習の時間，国語科】

① 研究授業

- ・ブロック毎に生活科及び総合的な学習の時間 1 授業，国語科 1 授業提案し，全体研修とする。
- ・西中校区と連携し，授業を公開する。

2 研究の方法

(1) 理論研修（研究主題に関わる共通認識）

(2) 授業研究（全教職員 1 人 1 回以上実施）

- ・各ブロックで 1 つは全体研修とする。全体研修ではない学級は，ブロック研修とする。
- ・ブロックごと（低学年・中学年・高学年）で指導案検討をして修正をする。
- ・各ブロックで事前授業を行い，指導案の修正をする。（できるだけ多数で参観する。）
- ・総合的な学習の時間及び生活科の授業研究を行う。ただし，専科や特別支援学級については，研究主題に沿うものであれば教科を問わない。
- ・全体研修の指導案は，起案後，ブロックで印刷，配付する。
- ・講師の先生には，指導案を 2 週間前に送付する。

3 検証計画

(1) 授業研究の検証（児童の成果物等，振り返りシート，ルーブリック）

(2) 児童の意識調査の実施と分析

(3) 教職員の意識調査の実施と分析

4 研究組織

